



2024年平和・暮らし・産業・雇用優先！
自民裏金問題、いるだけ使う“万博”ほっとけん！
無所属・市民派(呉市議3期、県議9期)

県議会議員 いぬどう英徳

呉市広弁天橋町 4-17 ☎72-9065

物価高騰・人手不足など一般会計 305 億円補正可決！ 12月議会

新春のお慶びを申し上げます。12月定例県議会では知事提案の305億円の補正予算が賛成多数で可決され、令和5年度一般会計、特別会計、企業会計、3会計合計は12月補正までの累計額1兆8,229億円余となりました。財源は皆さんの所得税、消費税や県民税等です。(コロナ関連は数年で累計6,276億円)現在、犬童県議は「建設常任委員会」で呉地域の道路交通網の整備、「人口減少対策・子ども政策推進特別委員会」では、日鉄閉鎖で人口減が深刻な呉地域の課題(経済産業復興、子育て支援など)等の要望実現に取り組んでいます。「賃上げ」ができる環境整備も。

(1) 物価高騰による影響緩和 (交通事業者、医療機関、中小企業の資金繰り、電気・ガス・物価高騰、肥料・飼料高騰農業・畜産、学校給食、和牛繁殖経営体への支援等)	9,756 百万円
(2) 生活者への支援 LP ガス料金高騰に対する支援(家庭用業務用 LP ガスを使用する一般家庭・中小企業に対して)	1,076 百万円
(3) ネットゼロカーボン等の取組の後押し エネルギー価格に左右されにくい事業構造への転換、持続的な賃上げの環境整備、交通や運輸事業者の人手不足への対応・デジタルサービス導入支援	1,781 百万円
(4) 社会的基盤の強化 公共事業(激甚化、頻発化する気象災害等への対応等)、国定公園等整備事業	15,423 百万円
(5) その他 離転職者の介護 IT 分野等の委託訓練実施、県立高等技術専門学校における委託訓練、人事委員会勧告実施(給料表の改定)	3,547 百万円
合 計	30,507 百万円

新年度県予算で知事に呉地域課題を申し入れました！

県議会民主県政会は12月18日(月)湯崎知事に、「2024年度」県事業に平和、福祉保健、土木建設、教育、農林水産、防災防犯、商工労働、呉地域重点課題実現(下記)の要望を申し入れました。

1. 日鉄撤退後の地域活性化策、跡地への企業(平和産業)誘致、雇用確保拡大策
2. 呉地域の観光拡大、島しょ部・瀬戸内海の魅力、農水産物のブランド化、「海の道構想」
3. 国立公園野呂山の再活性化、リフレッシュを進め観光振興
4. JR 呉線の防災強化の推進、沿線市町の活性化
5. 主要地方道(県道 呉二河～焼山)バイパス早期完成
6. 国道185号線(仁方～広～阿賀～呉本通)の渋滞解消対策
7. 自動車道クエアライン(呉～広島)4車線化の早期完成と東広島呉(阿賀先小倉)道路の直結連携の推進
8. とびしま街道架橋延長(岡村島～大三島)、海上を含めた交通網の整備、活性化など(なお、アンケートで寄せられた皆さんの要望は委員会審議等で取り組んでいます)



185号線 先小倉交差点

2023年県政要望アンケート集計表

皆さんから寄せられた意見要望の実現に議会活動で取組んでいます。ご意見ご要望をお寄せください。

(連絡先 呉市広弁天橋町4-17 ☎0823-72-9065)

県の取組み状況は、「県政報告くれ」等で報告します。



要 望 項 目	2023年 割合		
1. 呉地域活性化・日新跡地活用	17.3	15. 温暖化対策	3.2
2. 雇用確保、就労対策	5.1	16. 障がい者対策	0.6
3. 教育充実・子育て支援充実	4.5	17. イノシシ駆除対策	0.6
4. 高齢者福祉・医療・介護・年金	16.0	18. 水素エネルギー推進	0.6
5. 大学等の教育費負担軽減	0.6	19. 山、道路、河川、海岸等の安全	1.2
6. 貧困対策	0.6	20. 少子化対策	1.3
7. 交通安全・防犯対策	2.6	21. 高騰物価対策	16.1
8. 核廃絶・平和	3.8	22. 男女格差解消対策	0.6
9. 文化・スポーツの振興	1.3	23. 広島呉道路4車線化	1.9
10. コロナウイルス対策	3.2	24. 阿賀冠崎の県道2車線化工事	0.6
11. 安芸灘大橋無料化、とびしま街道	11.5	25. 人口減少対策	1.3
12. 県道呉平谷線バイパス建設促進	7.1	26. 国道185号線渋滞対策	1.3
13. 豪雨災害対策、がけ崩れ防災対策	5.1	27. 国道375号線渋滞対策	0.6
14. 津波高潮対策	0.6	28. 環境対策	0.6
		計	100.0

9月議会本会議 犬童質問報告

(前の686号で報告させていただきました9月犬童質問を再掲)

(1) 呉地域活性化・日鉄呉跡地活用について

犬童質問 9月4日、日本製鉄㈱と広島県、呉市による合同対策本部会議が開催されましたが、「利活用案は検討中、それを議論するための協議体設置も今後検討」といった何ら前進がないものでした。単なる報告会だったのでしょうか。何も展望が見えてこず、市民は先行きに不安を感じております。



そこで、今回の会議で県はどのようなスタンスで日鉄側に何を求めたのか、また、一刻も早く実務者レベルの協議の場を設けるべきと考えますが。



答弁 (知事)

私自ら、日本製鉄に対し、

- ・ 一部先行利用も含め、早期の利活用を前向きに検討すること
- ・ 跡地利活用に係る協議体をできるだけ早い時期に設置し、建設的な議論を進めること

について、強く求めたところでございます。

日本製鉄からは、

- ・ 全設備の解体撤去には10年規模の期間を要すること
- ・ 跡地利活用については、地域の将来に大きな影響を与えるもの

という認識であり、行政と連携し、責任を持って対応していくことについて御発言がございました。県といたしましては、今後とも、呉市や国と連携し、協議体の設置を含め、地元自治体としての意見を日本製鉄に伝えるとともに、地域経済の活性化と雇用創出につながる跡地利活用となるよう、しっかりと対応してまいりたいと考えております。

9/30 日鉄呉閉鎖 施設の解体始まる
日鉄、米大手USスチール2兆円で買収
日鉄呉跡地、雇用創出の早期活用策を

12/19 広島県議会 12月定例会本会議で決議

「イスラエル・パレスチナの武力闘争の平和的解決を求める決議」

“県民からの手紙”に湯崎知事が答えた！応える？

知事への手紙その1 核廃絶と旧広島陸軍被服支廠の保存活用について

「核兵器禁止条約の早期批准」を、強く日本政府に働きかけることです。

平和県政推進にとって、「旧陸軍被服支廠」(国の重要文化財指定決定)の活用方法を提案します。その一つは、広島市と共同しての広島文学館です。もう一つは、軍都広島として県内各地に残る戦争遺跡・遺産を伝える場にはできないかと思えます。

答弁(知事) 核兵器廃絶と恒久平和は県民の願い、被服支廠は平和を学べる拠点に

旧広島陸軍被服支廠の活用につきましては、2023年3月に、有識者で構成する「旧広島陸軍被服支廠の活用の方向性にかかる懇談会」におきまして、御指摘のように

- ・ 県民、来訪者の皆様の交流促進を目指した文化や芸術、生涯学習等の拠点
 - ・ 広島の自然や歴史・文化、平和等を学べる拠点
 - ・ 国内外の人々が訪れ、県民の皆様とつながり、広島を体感するための拠点
- の3つを活用の方向性として、取りまとめたところでございます。



国・県・広島市で構成する「研究会」で、最終的な活用策の議論・検討を進めてまいります。県民に県内の戦争遺跡の存在・保存について情報発信に取り組みます。

(なお、湯崎知事は核兵器依存の核抑止論に「(人類に対して)あなたは責任を負えますか」との強いメッセージを8月6日の広島市平和祈念式典で訴え、核兵器廃絶への取組みを求めた。)

知事への手紙その2 高齢障がい者の福祉政策の充実にもっと力を

27歳の時に労働災害による脊椎損傷で、車いす生活者になりました。怪我からほぼ50年、今は77歳になり体力の低下は避けられません。

広島県も、これからますます高齢化する障がい者の福祉政策の充実を考えていただきたい。

答弁(知事) 高齢障がい者の医療介護、地域包括ケアシステムの充実をはかる

高齢障がい者につきましては、加齢に伴います心身機能の低下に加えて、医療や介護が必要となった場合、地域包括ケアシステムの充実を図るとともに、障がい者が65歳以上になってもなじみのある環境で安心した生活とサービスを継続して利用できる共生型サービスに更に取組みます。

知事への手紙その3 若者が農業に夢が持てる県農政を

私たちは夫71歳、妻71歳の夫婦です。定年退職後、呉市郷原で、約1反半(455坪)の農地を借りて農業の真似事をはじめました。

しかし、知事も御承知の通り、肥料や資材費の高騰をはじめ、農作物の価格低迷等で農業に将来性を見出せなくなっています。若い人は『農業では生活ができない』と後継者もなく、農業の将来は非常に厳しいと思われまます。収益の上がる農業指導など県の方針、指導を？

答弁(知事) 食糧安保は国政、県政の柱です 儲かる農業を目指す

本県農業は、「2025 広島県農林水産業アクションプログラム」で、

- ・ 地域の核となる企業経営体の育成
- ・ スマート農業の導入による生産性の向上
- ・ 実需者と連携した販路の拡大
- ・ 新規就業者など新たな担い手の確保・育成
- ・ 担い手への農地集積と基盤整備

を大きな柱といたしまして、経営力の高い担い手の育成、農地の集積に取り組んでおります。農業者の、新たなビジネス、国の物価高騰対策に加えた県独自の支援を行ってまいります。中山間地域の実情に即した農業施策を推進し、収益力の高い農業を目指してまいります。

その他の犬童質問 「中部島地域の希望の架け橋」「労働災害の撲滅と安全管理の徹底」など



JAM(日本ものづくり産業労働組合)全国に約39万人

郡山りょう(49歳、熊本県人吉市出身、元労組委員長)

を先頭に賃上げと金権政治打破に全国行脚中

ワンさんの徒然草

1. 中西巖さんが遺された「旧陸軍被服支廠」保存と重文指定確定

広島市宇品にある煉瓦造りの「旧陸軍被服支廠」は軍都広島、原爆投下による惨劇を見つめてきた建物として、「後世に残すべき」と中西巖さんと「保存を願う会」が県民市民、県会、国に訴えてきた運動が「4棟保存」「国の重文指定」されることになった。

ナチの蛮行を伝え続けるポーランドの「アウシュビッツ強制収容所」と同じように、“世界平和の希望の聖地”として保存しようと、原爆投下当時、少年兵としてこの支廠にいて、原爆にあい死傷された市民の救助と処置にたずさわられた中西さんが声をあげられた。わたくしも職場の先輩の運動を陰ながら取組んできた。

「建物の全面撤去」「一棟のみ保存」に揺れた論議が県議会でもなされたが、中西さんたちの粘り強い運動と、「建物は建築学的にも貴重、重文の価値あり」との評価が大きな声となって、今回の指定になった。中西さんはこの知らせを聞かれぬままに、この夏他界された。ご冥福を祈ります。重文指定から、反核平和の建物としての活用、「世界遺産」指定に向け、「保存を願う会」の皆様を支援、実現に取組みます。

— 喜 怒 哀 楽 —



少年軟式野球、県内 15 チーム
政治家でもフェアプレーを



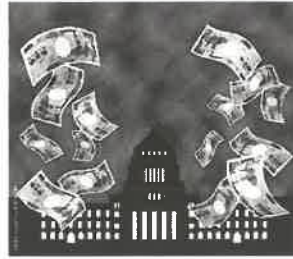
呉市文化祭に力作づくり
一生懸命がきらりと光る



寒風の中 バラが咲いた



「鳥インフルエンザ」で殺処分
鳥たちにも命がある 救いたい



またまた“政治と金”
国民が選んだ国会議員



樹齢 1200 年筒賀の大銀杏
人間の営みを見つめてきた

進む少子高齢化と急激な人口減、 私たちの喜びにも大きく影響！

日鉄呉閉鎖で呉市の人口減が激しい 2023. 11 末の
呉市人口 205, 966 人。県政・市政最大の課題

呉市の人口の推移(国勢調査)



日本人の人口と増減数の推移

